

東郷町議会議長


柘植三良

殿

受付番号	2	受付月日	2月9日
			(午前・午後) 8時42分

東郷町議会議員

議員番号 7番 氏名

加藤啓二  印

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2-1

質問事項	質問要旨	答弁者
1. 地区計画について	<p>地区計画道路整備に関する条例の施行に伴い、牛廻間地区整備計画区域が、平成13年5月15日に決定、及び白土・涼松地区整備計画区域が、平成17年12月27日に決定され、それぞれの地区計画区域は、地区施設(道路・公園など)の、計画的な誘導を図り、良好な住居環境の形成をめざし決定されました。</p> <p>(1)牛廻間地区では、道路の整備計画路線が14路線、約781m、公園整備個所が4か所、約2.160㎡、転回場1か所を整備する計画で決定されました。</p> <p>①現時点での整備状況は、又、過去5か年間の整備状況は。</p> <p>②整備計画の完了目標予定年度は。</p> <p>③今後の、整備予定は。</p> <p>(2)白土・涼松地区では、道路の、整備計画路線が42路線、約4.241m、転回場1か所を整備する計画で決定されました。</p> <p>①現時点での整備状況は、又、過去5か年の整備状況は。</p> <p>②整備計画の完了目標年度は。</p> <p>③今後の、整備予定は。</p> <p>(3)牛廻間地区、白土・涼松地区は地区計画が都市計画決定されて、今年で約10年が経過しているが、いまだ、完成予定年度の目途が立っていないのが、現時点の状況だと思える。そこで、懸念されるのは、地区計画と同時に、地区内の「建ぺい率」、及び「容積率」が「30/50」から「50/100」に変更され、土地利用が緩和された経緯があるが、これが、再び、「30/50」と、土地利用が、厳しくなることは考えられないか、当局の見解は。</p>	町長 担当部長

<p>2.国の平成26年度補正予算「地域住民生活等緊急支援のための交付金」の活用について</p>	<p>(1) 国においては、個人消費喚起や地方活性化に向けた経済対策を柱とする国の補正予算が2月3日に成立しました。</p> <p>内容は、昨年4月の消費税率引き上げで落ち込んだ個人消費の回復や、地域活性化に重点を置いた内容となっていると聞き及んでいます。補正予算案においては、地域消費喚起・生活支援型(2.500億円)・地方創生先行型(1.700億円)の2種類の交付金を措置しています。</p> <p>特に、地域消費喚起・生活支援型交付金の活用施策については個人消費の回復策の一つとして、自治体や商工団体の特典付「プレミアム商品券」発行に対する助成が盛り込まれ、回復策の目玉とされていると聞いています。</p> <p>調査したところ、尾張旭市、長久手市、日進市、みよし市、豊明市など近隣市町はすでに、各市から、各商工会に商品券発行事業を依頼し、発行を予定していると聞いております。</p> <p>①本町では、この交付金を活用する施策を講じる予定はありますか。</p> <p>あるとすれば、どのような内容で、どのように行う予定でしょうか。</p> <p>②地方創生先行型交付金を活用する施策予定は。</p>	<p>町長 担当部長</p>
<p>3.機能別消防団員について</p>	<p>(1) 大規模災害の発生時には被災現場で不足する消防力を補完するために、平成26年2月から機能別消防団員の募集を行っています。</p> <p>①現在の状況を伺いたい。</p>	<p>町長 担当部長</p>